

第 72 回全国健康保険協会香川支部評議会議事録

開催日時：令和 4 年 10 月 17 日（月）15：00～17：00

開催場所：リーガホテルゼスト高松 翡翠

評議員：小林評議員、坂本評議員、繁村評議員、白井評議員（副議長）、
長山評議員（議長）、西尾評議員、丹生評議員、
（欠席）野崎評議員、森永評議員

（五十音順）

議事

○報告事項

1. 2022（令和 4）年度支部事業報告（上半期）について

○協議事項

1. 2023（令和 5）年度保険料率について
2. 2023（令和 5）年度支部事業計画・保険者機能強化予算について

○その他

- ・協会けんぽ香川支部の概要

報告事項 1. 2022（令和 4）年度支部事業報告（上半期）について

【事務局より資料 1 に基づき説明】

（評議員の質問・ご意見）

【学識経験者】

被扶養者資格確認対象事業所からの確認書提出率が全国平均で約 9 割ということだが、この数値は人数ベースか。

【事務局】

数値は事業所数ベースになる。9 割以上の事業所が協会けんぽに確認書を提出している。

【被保険者代表】

コラボヘルスについて取組が 3 つ記載されているが、これらに取り組むにあたって経営者の方の理解が必要である。中小企業等の経営者が集まる団体に声掛けをし、学習会等で情報提供するのはどうか。

【事務局】

今年度の上期に商工会議所と生保会社が合同で研修会を開催しており、その時間を少しいただいて健康宣言についての話を一度している。下期にも 11 月に二度、同様の機会がある。今後もこのような取組みを継続していきたいと考えている。

【学識経験者】

ジェネリックの使用割合は全国ワースト 7 位。重点的な取組みの地域に指定されたということだが、成果がでるか否かにかかわらず、重点的に取り組むべき案件であるとする。

協議事項 1. 2023（令和 5）年度保険料率について

【事務局より資料 2-1、資料 2-2、資料 2-3 に基づき説明】

（評議員の質問・ご意見）

【学識経験者】（事前に頂いたご意見）

平均保険料率について、可能な限り長く 10.0%を維持していくほうが良い。健康保険の自助努力だけでは困難なため、国庫補助率引上げの連動も探りながら、ぎりぎりのところで少しずつ上げていかざるを得ないのではないかと懸念する。

【学識経験者】

準備金残高が積み上がっている状況において、令和 5 年度から生活習慣病予防健診の自己負担軽減等、加入者への還元に繋がった点は評価できる。

（平均保険料率 10%維持、3 月分（4 月納付分）から変更で異議なし）

協議事項 2. 2023（令和 5）年度支部事業計画・保険者機能強化予算について

【事務局より資料 3-1、資料 3-2 に基づき説明】

（評議員の質問・ご意見）

【被保険者代表】

すべての調剤薬局において患者にジェネリック医薬品を使用するか伺うということが、使用割合を高めることにつながる重要なことではないか。また、その際、ジェネリック医薬品にしたらどれくらい金額が下がるかを訴えることで使用割合が高められるのではないかと懸念する。

【事務局】

他支部では県薬剤師会と協定を結び、調剤薬局でジェネリック医薬品を勧める際に、使用した場合の軽減額を伝えているところがあり、効果も認められている。今後、香川支部でもそのような事業を検討していきたい。

その他. 協会けんぽ香川支部の概要

【事務局より資料4に基づき説明】

(評議員の質問・ご意見)

—特段意見なし—

以上

令和4年10月17日